

# 北総版 授業力向上のポイント



～授業の前に確認するはじめての一步～



授業力向上のために、ぜひ確認してほしいポイントです。日々の授業で活用してみましょう。

音楽科

チェックを入れてみよう。

## 1 【導入】 本時の課題や自分の課題をつかませましょう

○様々な音楽との出会いを大事にします。～歌いたい！演奏したい！この曲のよさの秘密は？～  
くそのために＜児童生徒の心を動かすような資料を提示します。（CD音源、映像資料、掲示物 など）  
思いや願いと実際の表現のずれに着目させます。  
音楽の授業の雰囲気づくりをしましょう。（本時につながる音楽遊び、リズム打ち など）

## 2 【展開】 「知覚」と「感受」を往還させながら、よりよい音楽表現をめざしましょう

○「音楽的な見方・考え方」を働かせながら、思考・判断し、表現することが重要です。

(1) 具体的な見通しをもたせます。

・音楽活動のポイントや音楽的な視点を提示します。

(2) 主体的・対話的に学ぶ学習活動を展開します。

・音楽を形づくっている要素を「知覚」します。  
それらの働きが生み出す特質や雰囲気を「感受」します。

思いや意図  
音楽的な特徴



演奏して試す  
聴いて確かめる

A 「ここは、やさしい声で歌いたいです。」

先生 「どうして？」

A 「旋律がきれいで、楽譜では『A』となっているからです。」

先生 「みんなはどう思う？」

B 「私も歌詞から、ささやくように歌いたいです。」

先生 「では、みんなで歌ってみましょう！……♪」

- ・個人で音や音楽に向き合う学習活動 ↔ 友達と協働し、「学び合い」を充実
- ・ねらいにせまる発問の工夫（問い返し、価値づけ、知覚と感受の結び付け など）
- ・学習形態の工夫（一斉、個人、グループ、ペア、パート など）
- ・交流の視点（話し合い・聴き方のポイント）や方法を提示
- ・効果的なICTの活用（録音、旋律の創作活動、鑑賞活動での聴き比べ など）

## 3 【終末】 音や音楽を通して、自らの学びを実感させ、次時への意欲につなげましょう

○学習の深まりや工夫したことのよさを実感させ、学びを振り返ります。

・学習による表現の深まりや変容を、音や音楽で実感させ、  
学びの喜びや達成感を味わわせましょう。

・音楽的な見方・考えを働かせて、より深まった表現や思い  
を全体で共有し、次時への意欲につなげましょう。

A 「強弱をつけて、ささやくように歌ったら、歌詞の様子がよりわかるようになったね。」

B 「2 番も歌詞や記号から強弱を考えて歌いたいな。」

### 【参考資料】

文部科学省 ICT事例集「音楽科」

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/mext\\_00007.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00007.html)

小学校、中学校の授業における活用例が見られます。

